

医療安全管理と感染管理の協同と 感染管理担当看護師の権限について

三沢美知代[†]第76回国立病院総合医学会
2022年10月8日 於 熊本

IRYO Vol. 78 No. 2 (91-93) 2024

要旨

感染管理担当看護師（感染担当看護師）の資格・役割は、診療報酬が大きく関係する。2022年改定は、新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）のパンデミックを受け、新興感染症などの感染拡大時における医療体制が追加され、とくに感染対策向上加算1の施設の地域医療における役割が強化された。感染担当看護師の役割では、「感染防止技術」や「感染管理に関する指導」は、現場においてロールモデルとして一緒に実践できることが求められている。一方、「感染予防・管理システムの構築・改善」は、職員や患者が感染症に感染しないためのルール作りや新型コロナ患者の受入など組織的な活動となるため、看護師長というポジションパワーが活動をスムーズにしていると思われる。

医療安全管理者との協同では、アウトブレイクや新型コロナのクラスター発生時は、情報共有と対策案や対応を協同で行うことで、職員の感染対策への危機意識が高まり手順の遵守に効果があったと考える。平時では、医療安全管理者から感染に関する情報提供を受けICTで情報共有し、必要時介入や経過観察に繋ぐことができる。

感染担当看護師の権限は、感染管理室などの権限に準じて、感染管理室長の承認、許可を受け、活動報告している。感染担当看護師は、国立病院機構では管理的視点を育成する目的で副看護師長が多いが、専従感染担当看護師が看護師長の場合、業務内容が同じでも「看護師長」のポジションパワーがあり、役割が認知され協力も得られ活動しやすいと思われる。

2022年診療報酬改定では、新型コロナ対応を含めた院内および地域における感染防止活動の実績が評価された。今後も活動を継続・発展させるためには、感染管理を担う感染管理認定看護師などの育成と複数名の配置、そして、感染管理担当者には活動を効果的かつスムーズにするために権限のある看護師長を配置、同時に看護管理者の人材育成も必要であると考えられる。

キーワード 感染管理担当看護師，医療安全管理者との協同，感染担当看護師の権限

感染管理担当看護師の資格・役割、医療安全管理者との協同・コミュニケーション、感染管理担当看護師の権限について述べる。

感染管理担当看護師（感染担当看護師）の資格・役割については、診療報酬が大きく関係する。診療報酬の主な変遷は、1996年改定は、院内感染対策防

国立病院機構千葉医療センター †看護師 看護部，感染管理室

著者連絡先：三沢美知代 国立病院機構千葉医療センター 看護部 〒260-8606 千葉県千葉市中央区椿森4-1-2

e-mail：miswa.michiyo.ka@mail.hosp.go.jp

(2023年3月9日受付，2023年6月9日受理)

Cooperation between Medical Safety Management and Infection Control and the Authority of the Infection Control Nurse

Michiyo Misawa NHO Chiba Medical Center, Nurse Department, Infection Control Office

(Received Mar. 9, 2023, Accepted Jun. 9, 2023)

Key words：cooperation with medical safety manager, the authority of infection control nurse, Infection Control Nurse